

4 各区の関連事業

中央区

概況

中央区は、北区と東区とは JR 函館本線で、白石区と豊平区とは豊平川で、南区と西区とは南西部山地の稜線で境界を接し、文字どおり市の中央部に位置しています。

明治の初め以来、札幌の中心として計画的なまちづくりが進められ、官庁や企業の近代的なビルが立ち並ぶ一方、円山や藻岩山、豊平川など豊かな自然にも恵まれています。

また、時計台や札幌市資料館などの歴史的な建造物が多く残り、札幌コンサートホール Kitara (キタラ)、札幌ウィンタースポーツミュージアムなどの文化施設や、札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)、創成川公園、札幌市北3条広場 (アカプラ) も整備されるなど、魅力ある都市空間を形成しています。

歴史

中央区は、明治2年、開拓使が設置され、島義勇判官が札幌本府の建設に着手しました。その志を受け継いだ岩村通俊判官の手によって、4年から本格的なまちづくりが始められました。

札幌本府の建設と共に東北地方からの移住が始まり、3年に酒田(山形)から30戸が円山地区へ、4年に新潟から40戸が山鼻地区へ入植しました。9年には山鼻地区へ240戸の屯田兵が入植し、札幌の開拓を推進する原動力となりました。

大胆なまちづくりの構想は、その後大きく実を結び、今日の札幌は、北方圏を代表する拠点都市となっています。

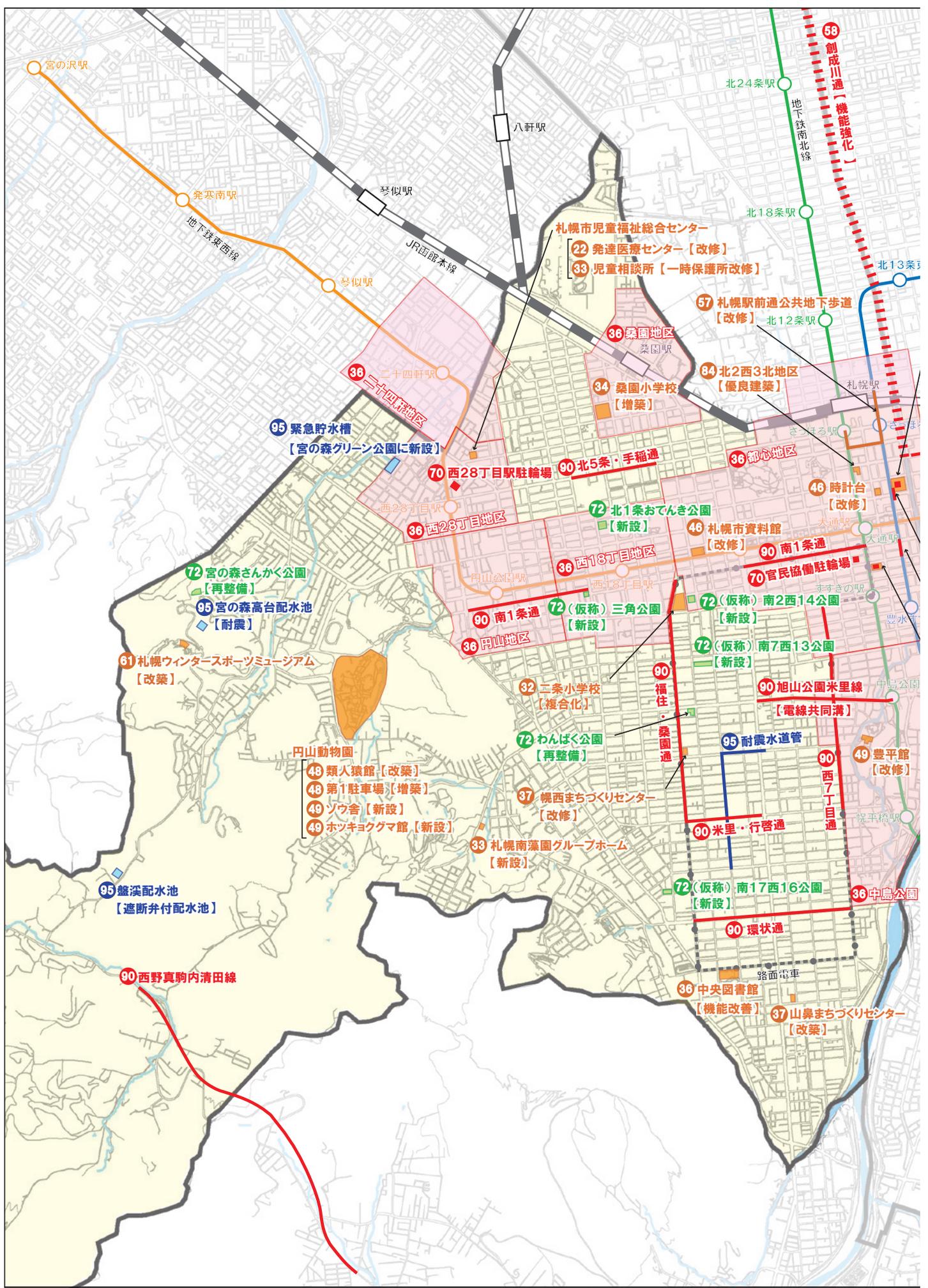
まちづくりの取組

中央区は、これまでまちづくりセンターを地域の拠点とし、地域住民、企業、学校、活動団体等との連携を深め、各地域の魅力や活動等を紹介するフリーペーパー「まちのモト」の発行、「市電フェスティバル」、地域住民や地元企業などとのアダプトプログラムによる環境美化活動など、住みよい環境づくりや地域のにぎわい・ふれあいのあるまちづくりに取り組んできました。

平成22年からは「中央区まちづくり会議」を開催し、地域防災や市電を活かしたまちづくりについて、地域、関係機関との議論や情報共有を行い、地域住民が主体となった「避難所運営体制づくり」や「市電と沿線の魅力向上」を進めています。

また、地域住民、学校、企業と共に実施する「けんこうフェスタ」や「ふれあいフラワー事業」、大倉山ジャンプ競技場や藻岩山、旭山記念公園を活用したイベントの開催、区内専門学校での食育講座など、地域資源を活かしたまちづくりを展開しています。

事業名	事業内容・整備内容	ページ
発達医療センター改修事業	発達医療センターの改修	22
中央区避難所運営体制づくり取組支援事業	基幹避難所における自主運営体制づくりを支援します。	25
新型児童会館整備事業	学校改築に合わせ、新型児童会館を整備（2校）	30
学校施設改築事業	老朽化した学校施設の改築（二条小、中央小、中央中）	32
社会的養護体制整備事業	札幌南藻園グループホーム新設	33
一時保護所改修事業	児童相談所の一時保護所を改修し定員を拡充（36人→50人）	33
学校増築事業	児童数増加が見込まれる学校施設の増築（桑園小）	34
駅周辺施設エレベーター等設置事業	大通東4地区	35
安全・安心な道路環境の整備事業	歩道のバリアフリー化（都心地区ほか7地区）	36
図書館バリアフリー化事業	中央図書館のトイレを洋式化	36
小学校併設地域交流施設設置事業	小学校併設地域交流施設の設置（2校） まちづくりセンターの改築（山鼻）、リニューアル改修（幌西）	37
市電と沿線の活性化事業	市電を活用した様々な事業を展開し、沿線の活性化を図ります。	39
時計台魅力アップ推進事業	時計台の保存活用工事基本実施設計	46
札幌市資料館リノベーション事業	札幌市資料館のリノベーション	46
円山公園第1駐車場拡張事業	第1駐車場の増設（円山公園・円山動物園）	48
類人猿館改築事業	類人猿館の改築（円山動物園）	48
ゾウ導入事業	ゾウ舎の新設（円山動物園）	49
ホッキョクグマ・アザラン館建設事業	ホッキョクグマ・アザラン館の新設（円山動物園）	49
豊平館保存活用事業	豊平館の保存活用工事	49
旧永山邸及び旧三菱鉱業寮保存活用事業	旧永山邸及び旧三菱鉱業寮の保存活用工事	49
札幌駅交流拠点まちづくり推進事業	（仮称）札幌駅交流拠点まちづくり計画の策定	57
地下鉄さっぽろ駅魅力アップ事業	札幌駅前通公共地下歩道及び地下鉄さっぽろ駅東豊線連絡通路等の改修	57
創成川通機能強化検討調査事業	創成川通機能強化の検討	58
豊平川通南北延伸検討調査事業	豊平川通北伸の検討	58
歩行者と自転車の共存する空間の創出事業	駐輪場の整備（都心部：西2丁目線地下駐輪場ほか3カ所、郊外部：西28丁目駅駐輪場）、自転車保管所整備	70
地域に応じた身近な公園整備事業	既成市街地における新規公園整備（街区公園 5カ所）	72
地域と創る公園機能再編・再整備事業	身近な公園の再整備（近隣公園 1カ所、街区公園 2カ所）	72
札幌市民交流プラザ整備事業	札幌市民交流プラザの整備	84
中央体育館改築事業	中央体育館の改築	84
西2丁目地下歩道整備事業	西2丁目地下歩道の整備	85
市街地再開発事業	北1西1地区、北4東6周辺地区、南2西3南西地区、北3東11周辺地区	84, 86
北2西3北地区優良建築物等整備事業	北2西3北地区	84
札幌市図書・情報館整備事業	札幌市民交流プラザ内に新設	85
大通バスセンター改修事業	大通バスセンターの改修	89
苗穂駅周辺地区まちづくり推進事業	苗穂周辺地区道路等の整備	89
電車通幅整備事業	南1条通、西7丁目通、福住・桑園通	90
骨格道路網等整備事業	西野真駒内清田線（こばやし峠）ほか4路線、電線共同溝（北3条線ほか）	90
都心のみどり景観魅力アップ事業	街路樹の樹形の作り直しなどの施策を進めます。	91
水道施設耐震化事業	宮の森高台配水池の耐震化	95
配水管耐震化事業	配水幹線の連続耐震化（西13丁目幹線、平岸第1幹線、北幹線）	95
緊急貯水槽・緊急遮断弁整備事業	緊急貯水槽の新設（宮の森グリーン公園内） 配水池に緊急遮断弁を設置（盤溪配水池）	95



北 区

概 況

北区は市の北部に位置し、東は創成川と旧篠路村境界で東区に接し、西は新川を境に西区と手稲区に接しています。また、南は JR 函館本線で中央区に接し、北は発寒川、茨戸川、石狩川を境に石狩市、当別町と隣接しています。

地形は平坦で山がなく、多くの河川や屯田防風林など、特徴的な自然景観を有しています。また、地質・地盤は南地域の一部を除き、粘土質の土ならびに泥炭からなり、軟弱です。

昭和 20 年代までは、区の南部が市街化していたにすぎず、他の地区は純然たる農業・酪農地帯でした。30 年代に入り、札幌市の人口規模の急膨張に並行して、新琴似、屯田、篠路地区などの市街化が進みました。現在は屯田、篠路、あいの里などの地域が新興住宅地として発展を見せているとともに、人口も約 28 万人と 10 区の中で最も多くなっています。

歴 史

明治 2 年、開拓使が置かれ、札幌本府の建設が着手されましたが、篠路地区ではこれより 10 年ほど早い安政 6 年頃から、開拓が進められていました。旧札幌市街地で札幌市の中心に接する鉄西地区では、明治 4 年、札幌最初の公園「偕楽園」が造られました。また、幌北地区は、農場開墾のため、19 年に鋤が入れられたのに始まります。一方、旧琴似地区の新琴似、新川、屯田の各地区は、20 年から 22 年にかけて九州の士族を中心とする屯田兵により開拓されました。“屯田”という名が地名として残っているのは北区の屯田地区だけです。琴似町と篠路村は昭和 30 年、札幌市と合併。47 年 4 月、札幌市は政令指定都市に移行し、区制が施行され、北区が誕生しました。都市基盤¹も着々と整備され、快適な街として大きく成長しています。

まちづくりの取組

北区では、安心して暮らせるぬくもりの街及び市民が創る自治と文化の街を目指して、地域住民や学生と連携した各種まちづくり活動をはじめ、高齢者等が安心して暮らせるよう、地域連携による見守り支え合い活動の推進や、災害に備えた地域住民のための避難場所運営研修を地域住民と協働で行っています。

また、「北区歴史と文化の八十八選」の P R 等の地域に根付いた文化活動の支援や、隣接市町との交流事業による活力あるまちづくりを進めています。

事業名	事業内容・整備内容	ページ
地域防災力の強化及び災害に備えた福祉施設等との連携事業	地域住民に対し、避難所運営のノウハウを取得するための研修及び水害発生を想定した訓練を実施するとともに、避難行動要支援者の避難先として福祉施設などに協力を求め、地域と施設が一体となった避難活動の協力体制づくりを支援します。	25
市立特別支援学校の教育内容等の拡充	教育内容見直しに伴う整備（豊明高等養護学校）	28
新型児童会館整備事業	学校改築に合わせ、新型児童会館を整備（2校）	30
放課後児童クラブの過密化解消事業	ミニ児童会館の新設（和光小、茨戸小）	30
学校施設改築事業	老朽化した学校施設の改築（篠路小、新陽小）	32
社会的養護体制整備事業	児童養護施設の小規模化（興正学園、柏葉荘）	33
地区センターバリアフリー化事業	エレベーターの設置（新琴似・新川地区センター）	36
安全・安心な道路環境の整備事業	歩道のバリアフリー化（新川地区ほか8地区） 事故危険箇所対策（琴似停車場新琴似線ほか2カ所）	36
北区北部地域の行政サービス拡充検討事業	北区北部地域において、区民の利便性の向上及び効率的な行政事務執行を図るため、地域交流拠点に位置付けられている篠路駅周辺地区において、篠路出張所の行政機能拡充の検討を進めます。	36
図書館バリアフリー化事業	新琴似図書館のトイレを洋式化	36
小学校併設地域交流施設設置事業	小学校併設地域交流施設の設置（1校） まちづくりセンターのリニューアル改修（鉄西）	37
市民運動広場整備事業	市民運動広場の整備	38
北区の歴史資源を活用したまちづくり事業	北区がこれまで取り組んできたポプラ通の再整備、亜麻栽培及び藍栽培に係る歴史の伝承といった「歴史と文化のまちづくり」をより一層進めていきます。	38
駅を中心としたみどりの顔づくり事業	JR駅や地下鉄駅周辺について地域ごとに特徴を持たせた緑化を行い、駅を核とした街づくりを進めるとともに、街路樹の植樹柵などに花苗を植え込み、北区全体の道路景観の向上を図ります。	38
創成川通機能強化検討調査事業	創成川通の機能強化を検討	58
歩行者と自転車の共存する空間の創出事業	駐輪場の整備（北12条駅駐輪場）	70
地域と創る公園機能再編・再整備事業	身近な公園の再整備（街区公園 14カ所）	72
篠路清掃工場跡地利活用事業	廃止した篠路清掃工場の跡地利活用策の検討	78
北8西1地区市街地再開発事業	北8西1地区	84
篠路駅周辺地区まちづくり推進事業	篠路駅周辺地区の土地区画整理、鉄道高架の整備検討、道路整備	86
北区北部地域の行政サービス拡充検討事業	（横新道ほか1路線）、篠路出張所の行政機能拡充を検討	36
JR駅バリアフリー化補助事業	拓北駅のバリアフリー化	90
骨格道路網等整備事業	屯田・茨戸通ほか7路線	90
総合的な治水整備事業	新琴似川	94
下水道施設再構築事業	下水道施設の設備改築（創成川水再生プラザほか4施設） 下水道科学館のリニューアル（改修）	94
下水道施設災害対策事業	汚泥圧送管（代替ルート）の整備	94
配水管耐震化事業	配水幹線の連続耐震化（拓北幹線）	95
緊急貯水槽・緊急遮断弁整備事業	緊急貯水槽の新設（拓北公園内）	95
下水道整備・水質改善事業	高度処理の導入（茨戸水再生プラザ）	96



北区

概況

項目	全市	北区	全市に占める割合(%)	調査時点
----	----	----	-------------	------

区域面積

● 行政区画面積 (km ²)	1,121.26	63.57	5.7	H26.10.1
● 市街化区域面積 (km ²)	250.17	38.63	15.4	H26.10.1

人口・世帯数

● 人口 (人)	1,942,648	283,513	14.6	H26.10.1
● 市街化区域内人口密度 (人/ha)	75.5	71.2	-	H22.10.1
● 世帯数 (世帯)	932,974	134,723	14.4	H26.10.1
● 住宅に住む一般世帯数 (世帯)	879,156	126,664	14.4	H22.10.1
持ち家 (世帯)	425,249	64,480	15.2	H22.10.1
民営の借家 (世帯)	376,805	54,477	14.5	H22.10.1
公営・都市再生機構・公社の借家 (世帯)	38,314	3,059	8.0	H22.10.1
その他 (世帯)	38,788	4,648	12.0	H22.10.1

就業者数・事業所数

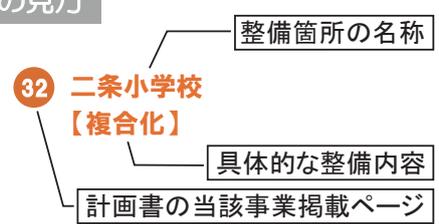
● 就業者数 (人)	861,037	119,902	13.9	H22.10.1
第1次産業 (人)	3,534	641	18.1	H22.10.1
第2次産業 (人)	118,904	19,794	16.6	H22.10.1
第3次産業 (人)	658,853	92,204	14.0	H22.10.1
分類不能 (人)	79,746	7,263	9.1	H22.10.1
● 事業所数	76,604	9,331	12.2	H26.7.1
第1次産業	105	8	7.6	H26.7.1
第2次産業	9,321	1,440	15.4	H26.7.1
第3次産業	67,178	7,883	11.7	H26.7.1

地図の凡例

- 道路(施設)整備
- 歩道バリアフリー整備
- 河川整備
- 下水道(施設)整備
- 公園整備
- 水道(施設)整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です
 検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

地図の見方



概 況

東区は札幌市の北東部に位置しています。東を豊平川と石狩川で白石区、江別市、当別町と、西と北を創成川と旧篠路村境界で北区と、南を JR 函館本線で中央区と接しています。人口は北区に次いで第2位となっています。

東区は農業、工業、商業の三拍子がそろったバランスの取れたまちです。農業について、経営耕地面積は10区中でも上位に位置しており、東区の特産であるタマネギのほかコマツナを多く栽培しています。工業では、明治時代からの工業地帯である苗穂地区に JR 苗穂工場や大規模な食品工場があり、丘珠地区には鉄工団地があります。商業では、JR 函館本線の北側に卸売センターがあることなどから、卸売・小売業も盛んです。

東区には大規模施設が相次いで整備されました。平成7年に「サッポロさとらんど」がオープンし、9年には「札幌市スポーツ交流施設（つどーむ）」がオープンしました。平成17年には故イサム・ノグチ氏の設計による「モエレ沼公園」がグランドオープンとなり、いずれも札幌を代表する施設として多くの市民が利用しています。

歴 史

開拓の基礎を築いたのは、二宮尊徳の門下にあたる大友亀太郎です。慶応2年、幕府の命を受けた大友は、農家約20戸を伴って、当時の伏籠川のほとり（北13条東16丁目付近）で御手作場（模範農場）の造成に着手しました。大友は最初に用水路と道路を開き、橋を造りました。用水路は後に「大友堀」と呼ばれ、現在もその一部（南3条から北6条付近）が創成川として残っています。

大友堀に沿って開けた（旧）札幌村（後の元村）には本州から移民が入植して開拓が進み、その後、苗穂村、丘珠村、雁来村が開村し、東区の母体となる札幌村が形成されました。札幌村は昭和30年に、琴似町、篠路村とともに札幌市と合併しました。

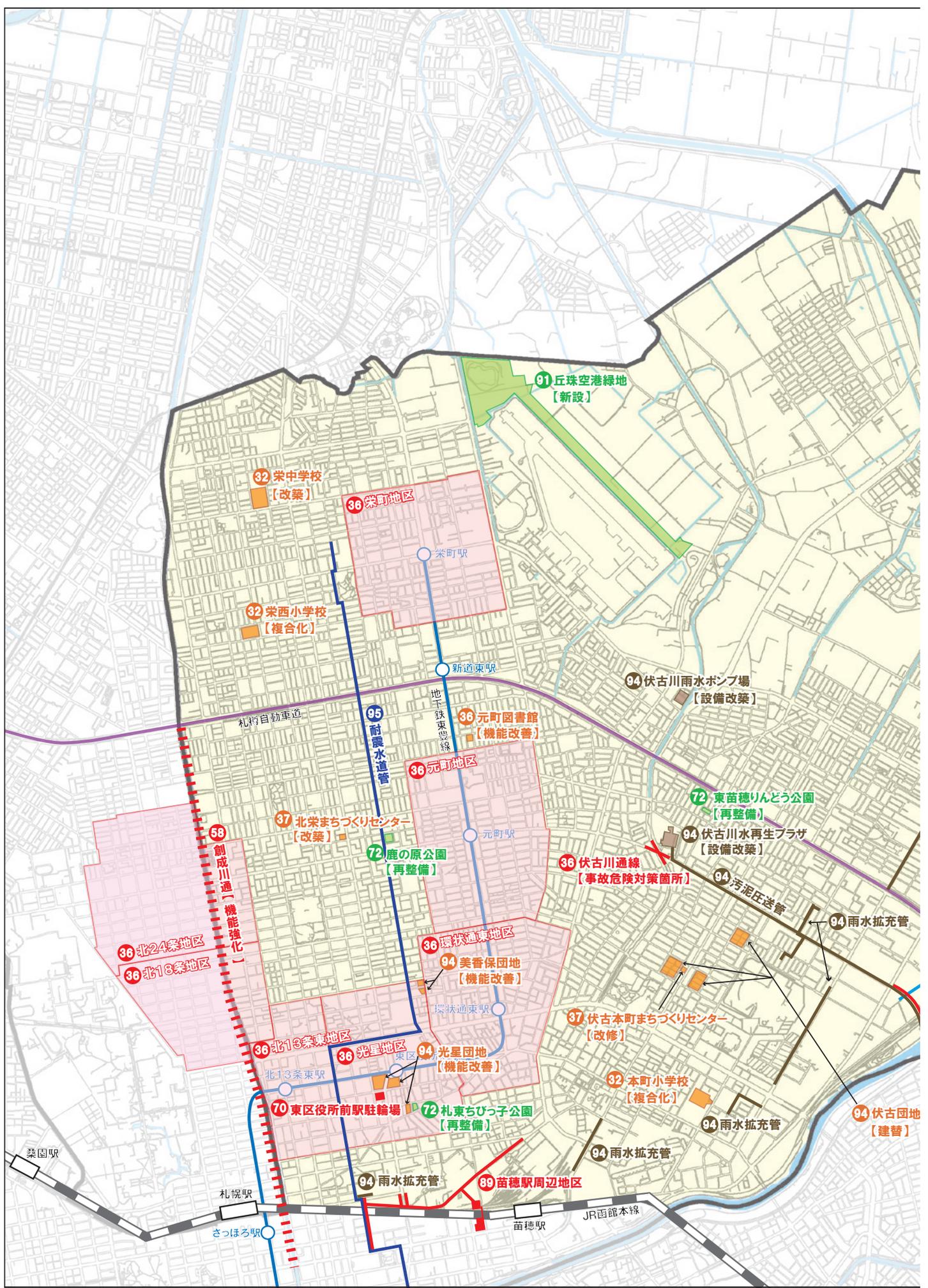
まちづくりの取組

東区のまちづくりの指針である「東区実施プラン」に基づき、「区民に親しまれ信頼される区役所づくり」を目指すとともに、区役所と区民・企業・各種団体との連携を深めながら、東区の特徴を生かした、「区民が主役のまちづくり」を進めています。

東区実施プランの最重点取組項目として、地域に身近なまちづくりセンターを区役所全体でサポートすることを掲げ、地域課題の的確な把握及び迅速な支援ができる体制を充実させ、地域が抱える様々な課題の解決に向け積極的に取り組んでいます。

また、地域の自主防災組織への活動支援や区民協議会⁴⁴による「あいさつ声かけ運動」の活性化、大規模災害時に要配慮者が社会福祉施設等に円滑に受け入れてもらうためのネットワーク構築など、安心安全なまちづくり活動等も積極的に進めています。

事業名	事業内容・整備内容	ページ
災害時避難行動要支援者支援ネットワーク運用事業	災害時要援護者支援ネットワーク（平成24年度協定締結）を活用し、地域が自主的に災害などへの備えや弱者の見守り活動に取り組むことを促し、災害時に要支援者に効率的な支援を行えるよう運用していきます。	25
児童会館を活用した多世代交流事業	地域における多世代交流を促進するため、子どもと大人の交流の場として児童会館を活用し、地域の歴史や特徴的な資源、まちづくりなどを体験するイベントを実施します。	29
新型児童会館整備事業	学校改築に合わせ、新型児童会館を整備（2校）	30
学校施設改築事業	老朽化した学校施設の改築（栄西小、本町小、栄中）	32
学校増築事業	児童数増加が見込まれる学校施設の増築（札苗北小）	34
東雁来団地子育て支援住宅建設事業	子育て世帯を対象とした市営住宅（東雁来団地）の建設	34
安全・安心な道路環境の整備事業	歩道のバリアフリー化（北13条東地区ほか6地区） 事故危険箇所対策（伏古川通線）	36
図書館バリアフリー化事業	元町図書館のトイレを洋式化	36
小学校併設地域交流施設設置事業	小学校併設地域交流施設の設置（2校） まちづくりセンターの改築（北栄）、リニューアル改修（伏古本町）	37
札苗緑小学校区多世代交流施設整備事業	ウェルピアひかりのに児童会館機能、多世代交流機能を持つ施設を整備	38
地域コミュニティ形成促進事業	町内会が設立されていない地域に対し、町内会の新規設立を促し地域コミュニティの形成を促進します。	41
東区郊外の集客施設を生かしたネットワークづくり	東区郊外にはモエレ沼公園やサッポロさとらんどなど集客施設が集積していることを生かし、地下鉄栄町駅を拠点とした来訪者の流れを創出するためのレンタサイクル事業の実証実験を行うほか、各施設を美しい景観で結ぶため、札苗フラワーロードの延長整備を行います。	48
創成川通機能強化検討調査事業	創成川通の機能強化を検討	58
東雁来第2土地区画整理事業	東雁来第2地区	58
歩行者と自転車の共存する空間の創出事業	駐輪場の整備（東区役所前駅駐輪場）	70
地域と創る公園機能再編・再整備事業	身近な公園の再整備（街区公園 4カ所）	72
（仮称）丘珠縄文遺跡公園整備・運営事業	（仮称）丘珠縄文遺跡公園の整備	88
苗穂駅周辺地区まちづくり推進事業	苗穂周辺地区道路等の整備	89
骨格道路網等整備事業	宮の森・北24条通ほか1路線	90
公園造成整備事業	公園・緑地の整備 （都市緑地 1カ所、近隣公園 1カ所、街区公園 2カ所）	91
総合的な治水整備事業	雁来川ほか1河川	94
市営住宅維持更新事業	伏古団地の建て替え、美香保団地、光星団地の耐震化	94
下水道施設再構築事業	下水道施設の設備改築（伏古川水再生プラザほか1施設）	94
下水道施設災害対策事業	東雁来雨水ポンプ場の新設 雨水拡充管の整備、汚泥圧送管（代替ルート）の整備	94
配水管耐震化事業	配水幹線の連続耐震化（北栄幹線、北幹線、平岸第3幹線）	95





東 区

概 況

項 目	全 市	東 区	全市に占める割合 (%)	調査時点
-----	-----	-----	--------------	------

区 域 面 積				
● 行政区域面積 (km ²)	1,121.26	56.97	5.1	H26.10.1
● 市街化区域面積 (km ²)	250.17	31.48	12.6	H26.10.1

人 口 ・ 世 帯 数				
● 人 口 (人)	1,942,648	259,508	13.4	H26.10.1
● 市街化区域内人口密度 (人/ha)	75.5	79.8	-	H22.10.1
● 世 帯 数 (世帯)	932,974	124,888	13.4	H26.10.1
● 住宅に住む一般世帯数 (世帯)	879,156	118,031	13.4	H22.10.1
持 ち 家 (世帯)	425,249	48,517	11.4	H22.10.1
民 営 の 借 家 (世帯)	376,805	57,278	15.2	H22.10.1
公 営 ・ 都 市 再 生 機 構 ・ 公 社 の 借 家 (世帯)	38,314	6,688	17.5	H22.10.1
そ の 他 (世帯)	38,788	5,548	14.3	H22.10.1

就 業 者 数 ・ 事 業 所 数				
● 就 業 者 数 (人)	861,037	115,876	13.5	H22.10.1
第 1 次 産 業 (人)	3,534	470	13.3	H22.10.1
第 2 次 産 業 (人)	118,904	18,083	15.2	H22.10.1
第 3 次 産 業 (人)	658,853	86,041	13.1	H22.10.1
分 類 不 能 (人)	79,746	11,282	14.1	H22.10.1
● 事 業 所 数	76,604	8,964	11.7	H26.7.1
第 1 次 産 業	105	6	5.7	H26.7.1
第 2 次 産 業	9,321	1,726	18.5	H26.7.1
第 3 次 産 業	67,178	7,232	10.8	H26.7.1

地図の凡例

- 道路(施設)整備
- 歩道バリアフリー整備
- 河川整備
- 下水道(施設)整備
- 公園整備
- 水道(施設)整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です
 検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

地図の見方

